

けんちぴーれんたより

最終号 Vol.179 2026年3月発行

情報交換会 (2025.11.20開催)

【役員選出と組織運営に関する取り組み】

役員選出方法

- 自薦または他薦
- 役員募集アンケート(年2回や3~4年分とるところもあり)
- 決まらない場合はアンケートで抽選、推薦、選出方法の確認、くじ引き、点数制ノルマ
- ポイント制で実施(ポイントの少ない人から選出)
- 指定の学年から会長を選出
- 最終決定を学校が行う

工夫やその他

- 「できる人ができるときに」を重視
- 役員の仕事を具体的に紹介する
- PTA行事でボランティア参加を促し、活動の雰囲気味わえる機会を作る
- 従来の役職制を廃止し、無理のない範囲で関わる柔軟な体制を構築する
- PTA存続に関するアンケートを実施し、関心層へ検討を促す
- 地域コーディネーターが中心となり地域開放を推進する
- 印刷作業は業務サポーターが支援する
- 後援会(町内会長や卒業生など)が存在する
- 役員報酬費を支給されている学校が多い
- 同窓会を実施しているところもある
- 先生のフォローが手厚く、負担の少ないところもある
(本部役員を引き受けて良かったと、保護者間で広く共有されている)

【他校に聞いてみたいこと】

PTA活動で使用してるアプリやメールなどは?会議やお便りなどのデジタル化におけるツールは?

○アプリやメールなど

→さくら連絡網、サークルスクエア、Dropbox、LINE、マチコミ、Yahooメール、すぐーる、LINEWORKS、マメール、LINE TV、ミマモルメ、Google

○使用してるツール

Googleフォーム、ZOOM、クラウドを使用していく予定

保護者からのニーズを把握する手段は?

- アンケート(行事の後、今後のPTAのあり方についてなど)
- 県への要望書の提出
- PTA運営委員会等で発信
- 実行委員会や行事などで直接聞く
- 校長・PTA座談会
- マチコミ



【情報共有】

○NISA(ナイセ) 国立特別支援教育総合研究所について

障害のある子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献するため、様々な研究、研修・支援、情報普及などが行われています。

充実したホームページから保護者にお勧めのページは、発達障害教育推進センター、構築支援データベース(インクルDB)、それぞれのQ&Aだそうです。

「NISE学びラボ」という、特別支援教育を学ぶすべての人を対象とした無料オンライン講義配信サービスもあるので、ぜひ見てみて下さい。

(NISEホームページ、四谷学院 発達支援ブログを参照)

ゆるキャラその1

みどり



グリーンダー
&
チビグリーンダー

【特徴】

- ・みどり支援学校をこよなく愛し、自らマスコットを買って出た素敵なコンビ
- ・お調子者の兄グリーンダー（サンマーメンが好きな猫舌）としっかり者の弟チビグリーンダー（趣味は遺跡の発掘。みどり支援学校は学校敷地内に遺跡があります）の兄弟
- ・登場の決め台詞は「空に星、土に花、人に愛、みんなの心にグリーンダー」
- ・豆知識：ライバルは交通網を乱すタイプーン

【由来】

小学部の「リズム遊び」のリーダーから生まれたキャラクターで、弟のチビグリーンダーは当時の小学部の児童がモデルです。

横浜国立

【特徴】

校章らしきものを抱えて校内の色々なところに現れます。

【由来】

本校創立40周年を記念して誕生した児童生徒会のマスコットキャラクターです。児童生徒から応募のあった多数のキャラクターから選挙によって選ばれました。学校の周りでよく見かける「ねこ」をモチーフとしています。



ふしにゃん

(児童生徒会マスコットキャラクター)



相模原

【特徴】

黄色い鳥が虹色のズボンをはいて、いろいろなポーズをしています。

【由来】

「いろいろな個性がある子どもたちが共に学んでいる」という特色を虹と重ね合わせ、大空（社会）に羽ばたく子どもたちの姿をイメージした。「虹」は子ども・保護者・教職員の“心が晴れる”ような活動をしていきたいという想いでモチーフになった。企画は令和2年度の教育相談の教員、イラストは当時中学部の教員が描き、保護者や児童・生徒がバリエーションを増やして、「にじバード」を育てています。



にじバード

津久井



つくびー



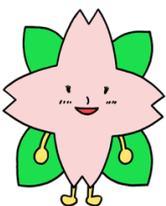
【特徴】

生年月日：2014年1月8日 性別：メス
性格：恥ずかしがり屋、でも少し気が荒い
好物：回転寿司、特に鮎寿司が好き、さび抜きで
趣味：LINEをしています。昼間は寝ていて放課後に現れます

【由来】

学校設立10周年の年に生徒会活動を中心に生まれました。イラストが先あって、名前は募集しました。

岩戸



岩戸桜ちゃん

【特徴】

桜をモチーフにしたキャラクター。

【由来】

2019年10月に本校が10周年を迎えることから、PTAでマスコットキャラクターを募集しました。生徒、保護者、教員の多くの応募の中から、当時本校1年生の描いた「岩戸 桜ちゃん」が選ばれました。本校周辺は桜並木が美しく、地域でも花見の場所となっています。

港南台ひの



ひのピーノ



港南だいざえもん

【特徴】

- ・4/15誕生
- ・小学生の男の子

【特徴】

- ・9/1誕生
- ・語尾が「～なんだい！」

【由来】ひのピーノ

前身である日野養護学校30周年記念のキャラクターとして誕生

【由来】港南だいざえもん

2003年港南台への移転を記念して誕生

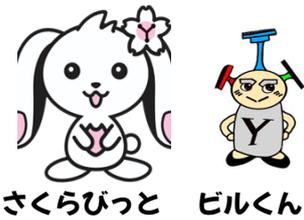
小田原



- ①小田原支援学校ゆるきゃら
- ②小田原支援学校サブキャラクター
- ③湯河原校舎イメージキャラクター
- ④湯河原校舎サブキャラクター

- ①小田原の名産である「うめ」と友達と共に学ぶという意味の「とも」という二つの言葉を小田原支援学校のイメージとして名付けた。
- ②歴史の町小田原にちなみ、「おだエモン」と名付けた。
- ③自然豊かな分教室。みんなから愛されるキャラクター、イノシシをイメージし湯河原の頭文字を入れて、親しみやすい名前「ユノッシー」と名付けた。
- ④可愛らしい猫と湯河原の代表的な特産物のみかんをのせた高等部の生徒が考えたゆるキャラでユノッシーと仲が良い。

川崎中央



「さくらびっと」⇒校章の桜とrabbitを掛け合わせた名前です。2018年頃に、生徒からキャラクターを募集し、当時の生徒会でいくつか絞り、生徒たちの投票で決定したキャラクターを当時のPTA会長が手書きのものからイラストにしてくれたそうです。

「ビルくん」⇒分教室のキャラクターです。2024年に生徒から分教室のキャラクターを作りたいと声があがり生徒が作成し、生徒の投票により決定しました。分教室のビルクリーニング班が、ビルくんの由来になっています。

瀬谷

- ・まっすぐで純粋な気持ち将来に向かって伸びて行く様子を「たけのこ」で表している
- ・瀬谷の子どもたちが「しなやかにのびのびと育て欲しい」という願いが込められている
- ・スクールバスにも「たけのこ」ロゴが施され学校の象徴のひとつとなっている



せやのこたけのこ

鶴見



鶴見の鶴から、鶴をモチーフにしたキャラクター
約10年ほど前に、児童が学校に親しみをもてるモチーフを作ろうということで当時の先生がキャラクターを作ってくれた。

伊勢原

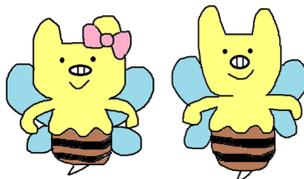
伊勢原市を見守る「大山」、伊勢原市の鳥である「やまどり」伝統工芸の「大山独楽」をモチーフとした学校公認のかわいらしいゆるキャラです。



大山鳥独楽之介(おおやまどりこまのすけ)

武山

ブーフン (分教室)



男の子と女の子がいます
教室に蜂が入ってきたのがきっかけ
一期生が描いたイラスト

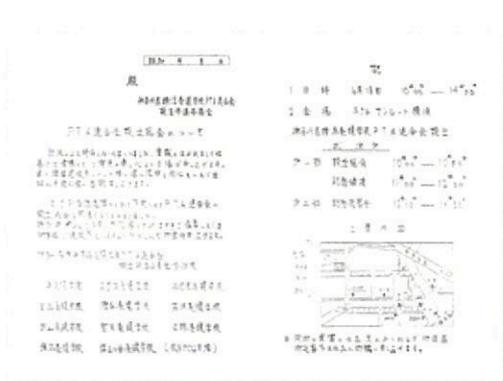
麻生



みんな元気で、いつも笑顔！
かきおあさおくん・・・柿生の里、麻生区に立地している
おうぜんじにじこさん・・・王禅寺と虹ヶ丘地区の間に立地している
ジョン・・・インクルージョンが由来（10周年の時に参加）
※首のスカーフは「包み込む」を表している

神奈川県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会

40年の歩み



昭和54年4月 養護学校の就学及び設置の義務化

昭和54年5月1日 神奈川県精薄養護学校PTA連合会 設立趣意書作成（略称「県精養P連」）



神奈川県精薄養護学校PTA連合会 設立総会

昭和54年6月18日

- 設立準備委員会参加校
（当時の名称・あいうえお順）
- 川崎市立養護学校
 - 久里浜養護学校
 - 相模原養護学校
 - 白浜養護学校
 - 瀬谷養護学校
 - 高津養護学校
 - 武山養護学校
 - 聖坂養護学校
 - 日野養護学校
 - 藤沢養護学校
 - 保土ヶ谷養護学校

昭和54年12月17日 会報第1号発行

巻頭言
「一人の願いをみんなの願いに」
昭和55年度18校児童生徒数3957人

創立10周年記念の集い開催

平成元年3月29日



- 第一部 『見よう・聴こう』
賛助出演 青山学院大学
(学生ロックバンドFAFW)
今、養護学校では！
- ・私立聖坂養護学校
児童・生徒・先生（太鼓の演技）
 - ・横浜市立高等養護学校
先生と友人（ブラスバンド演奏）
 - ・神奈川県立鶴見養護学校
児童・生徒・先生（合唱 佐渡の四季）
- 第二部 『共に参加しよう』
☆障害のある子どもと障害のない子どもが
『ふれあう』場を求めて
賛助出演 『カバゴンと遊ぼう』(阿部 進)
- 第三部 『今日の日はさようなら』
参加者全員で『今日の日はさようなら』を大合唱



けんちぴーれんの歴史として、平成30年（2018年）発行の40周年記念誌を掲載します

創立20周年記念式典・臨時総会開催

平成11年1月28日

「神奈川県知的障害養護学校PTA連合会」
に名称変更（略称「県知P連」）

会場：県民ホール・メルパルク
記念講演：「チャレンジド（障害者）を納税者へ」
プロップ・ステーション代表 竹中 ナミ 氏

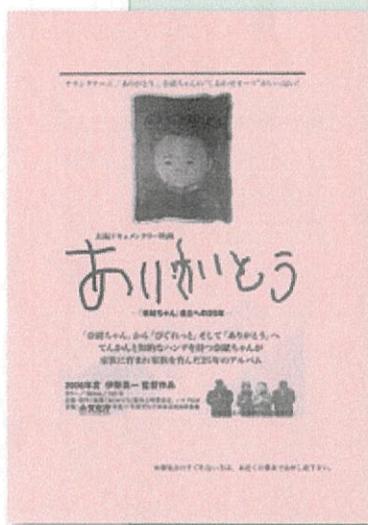
平成11年1月29日神奈川新聞



創立30周年記念式典開催

平成20年1月18日

会場：海老名市文化会館
映画上映：ありがとう～「奈緒ちゃん」自立への25年～
講演会：伊勢 真一氏（映画監督）
西村 信子氏（社会福祉法人ぴぐれっと前代表）



平成26年5月

「神奈川県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会」に名称変更
（略称「県知P連」）

平成29年度県知P連児童生徒数5342人

創立40周年記念式典開催

平成30年1月30日

会場：カルッツかわさき
記念講演：「障がいのある児童生徒の人権と保護者の思い」
毎日新聞論説委員 野沢 和弘 氏



次の10年へ

最終号に寄せて 校長理事 役員からのあいさつ

会長校 神奈川県立伊勢原支援学校長 澤田文嗣

今年度の活動の終わりを迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

県知P連の理事会への参加を通して、各校のPTAの取組を知る機会となり、また、会議に御参加いただいている皆様の御発言から、その真摯な思いに触れることができました。これらのことから、あらためてPTAの存在意義を再認識することができました。また、PTAの在り方が問われているこの時代において、各校が団結して運営するこの県知P連が担ってきた役割についても、検討を重ねる中で、その重要性が強く意識されるようになったのではないかと感じています。児童・生徒の教育活動の充実に向けて保護者と教職員が手を携えともに歩んできた歴史は、それを受け継いでいくなかで、その歩みが確かなものであったことを教えてくれました。やむを得ない事情等で次年度の活動から離れゆくPTAもごさいますが、それぞれの学校においてこの時代に応じた保護者と教職員の繋がりというものを紡いでいかれることを望んでおります。

最後に、年頭の職員会議にて私が大切にしたいことを述べた文章を紹介し、皆様に贈る言葉とさせていただきます、私のあいさつを終えたいと思います。

『年の始まりにあたり、そのようにありたいという思いや考えについて、みなさんと分かち合いたくお伝えしようと思います。それが、「ていねいとくらし」です。「くらし」ですが、学校もくらしの場であり、子どもたちのみならず私たちにとっても、家庭に次ぐ多くの時間を師と子らと友と仲間と過ごします。様々な用具を手にし、何かを為し、多くの機会に身を投じ、出会う人と言葉をおくりあう。日々は、そのように過ぎていき、私たちのところに彩られた思い出を与えてくれます。「ていねい」であることは、そのことの一々を思い考え大切にすることのように思います。対するものが、物であれ、事であれ、人であれ、ていねいに処する様は、見ていて心地よいものであり、私もそのように関わってもらえたらと願わずにはいられない気持ちになります。

くらしの隅々にまでていねいさが行き渡るなら、おのずと心穏やかに気持ち安らぐことでしょう。「ていねいとくらし」を考えつつやってみる。これが、そのようにありたい私の思いや考えです』

会長・佐藤 和子（伊勢原支援学校）

県知P連を2年間務める中で、私が一番嬉しかったことは、役員や理事の皆さん、そして先生方との出会いです。学校や子どもたちのために、立場は違って同じ思いで協力し合えた時間は、私にとって大切な経験となりました。

この広報誌が最後となりますが、これまで県知P連の活動に携わってくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

今後活動は縮小していきますが残ってくださる皆さんには無理のない形で県知P連を支えていただけたら嬉しいです。

副会長・込山 果恋（相模原支援学校）

県知P連に携わってくださった役員・理事の皆様、そして事務局の先生方、本当にありがとうございました。県知P連に初めて参加した年であり、副会長として右も左も分からない中、役員の皆様に支えていただいたお陰で副会長を全うできました。凸凹な子どもたちのために日々奮闘されている皆様のお話を伺うことで、多くの学びと力をいただきました。

先輩方が残してくださった想いをしっかり引き継ぎ、来年度もアットホームで温かい県知P連を目指して、精一杯努めてまいります。

書記・植村 みゆき（湘南支援学校）

学校の先生から勧められた県知Pですが、参加してみると楽しくて気づいたら3年も経っていました。

今年は役員だったので集まる回数も多かったですが、アットホームな空間がとても居心地が良かったです。忙しい日々の中でのPTA活動は大変な部分もありますが、人と人との繋がりでそれ以上のものを得る事ができました。ぜひ来年以降も楽しんで参加していただけたら嬉しいです♪

会計・佐々木 恵（港南台ひの特別支援学校）

私にとって初めての県知P連。しかも会計という重責！役員・理事の皆さん、事務局の先生方のおかげで無事に終えられそうです。(年度末監査も何事ありませんように…)

県内各地で特別支援学校PTAの様々な活動が行われていることを、改めて知ることができました。支援を必要とする子どもたちと家族が、それぞれの地域でのびのびと過ごせますように。県知P連での活動を通して少しでも力になれたらと思います。

研修部長・横森 真澄（鎌倉支援学校）

私にとって初めてのPTA、そして県知P連への参加で、役員を務められるのか緊張でいっぱいでした。

役員や理事の皆さん、事務局の先生方のおかげで、楽しみながら頑張ることも、有意義な情報交換会を開催することも出来ました。たくさんのご協力ありがとうございます。他の学校のことや県知P連の役割も、携わることでより理解出来る貴重な経験にもなりました。これからも楽しく情報交換が行われる、素敵な場所であることを願っています。

広報部長・兵藤かおる、青木薫（津久井支援学校）

参加出来ないことも多々ありましたが、とても暖かく楽しい役員会でした！役員・理事の皆様、事務局の先生方、資料や情報提供など沢山のご協力をありがとうございました。

今回で最終号となるけんちび一れんたよりを担当することになり責任も感じましたが、皆様のおかげでとても楽しく制作することが出来ました。今後も役員の皆様が、楽しく、有意義に活動できることを願っています！